



米田のFP通信



ちょっと気になる「保険」や「年金」についての話題をお届けします。

ご挨拶

残暑お見舞い申し上げます。

夏休みはどのようにお過ごしですか？コロナ禍ですが人の移動はずいぶん戻ってきたようですね。

コロナ禍で増えたもの一つにオンラインでの企業見学があります。場所の制約を受けずに様々な企業の工場や政府機関の見学ができます。

お子さまの夏休みの宿題が気になる人は利用しても良いかもしれませんね。中には大人も楽しめるものもあるようです。

興味がある人は「オンライン社会見学」などで検索してみてください。



今月号のちょっと気になるお金のコラム

金融商品選びに関する意識が随分と変わってきているようです。リスクがあるが収益性が高い商品についてどう思いますか？

もはや昭和ではない

「もはや昭和ではない。昭和の時代、多く見られたサラリーマンの夫と専業主婦の妻と子供、または高齢の両親と同居している夫婦と子供という3世代同居は減少し、単身世帯が男女全年齢層で増加している。人生100年時代、結婚せずに独身でいる人、結婚後、離婚する人、離婚後、再婚する人、結婚（法律婚）という形を取らずに家族を持つ人、親と暮らす人、配偶者や親を看取った後ひとり暮らしをする人等、様々であり、一人ひとりの人生も長い年月の中でさまざまな姿をたどっている。」

| | 1980年 | 2020年 |
|------------|-------|-------|
| 婚姻数 | 73.6万 | 52.6万 |
| 離婚数 | 14.2万 | 19.3万 |
| 単身世帯 | 710万 | 2115万 |
| 50歳未婚率（男性） | 2.6% | 28.3% |

上記は6月に公表された「令和4年 男女共同参画白書」からの抜粋です。

特に単身世帯数や未婚率の上昇を数字でみると改めて変化を実感します。

年金や医療などの社会保障制度ができたのは昭和30年代です。社会保障制度も家族の形の変化に合わせて徐々に変わっていくかもしれません。

私たち自身のライフスタイル、ライフプランに合わせてしっかりと準備をしておく必要がありますね。



1999年からFP業務を行っています。現在はIFAとして最適な金融商品の選定やアドバイス、加入者の方のライフプラン相談、事業承継や相続、保険相談を中心に活動しています。ドクター、企業の経営者から個人まで年間で200人以上の方の相談をさせていただいています。

株式会社リスマネジメント・ラボラトリー 大阪支店
〒543-0018大阪市天王寺区空清町8-33 大阪府医師協同組合東館3階
電話06-6766-1511 携帯090-1152-3889 メールyoneda760@rml.co.jp

ちょっと気になるお金のコラム

まず最初に質問です。

①あなたのご家庭では、保有する金融商品を決める場合に、どのようなことに最も重点をおいて選んでいますか？

1. 利回りが良いから
2. 将来の値上がり期待できるから
3. 元本が保証されているから
4. 取扱金融機関が信用できて安心だから
5. 商品内容が理解しやすいから
6. 現金に換えやすいから
7. 少額でも預け入れや引き出しが自由にできるから
8. その他

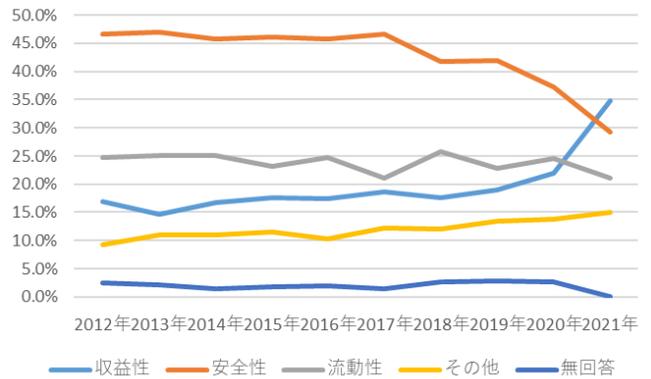
②あなたのご家庭では、元本割れを起こす可能性があるが、収益性の高いと見込まれる金融商品について、今後、どのくらい保有しようと考えていますか？

1. そうした商品についても、積極的に保有しようと思っている
2. そうした商品についても、一部は保有しようと思っている
3. そうした商品を保有しようとは全く思わない。

皆さんの答えはいかがでしたか？

これは金融広報中央委員会が行った「家計の金融行動に関する世論調査 [二人以上世帯調査]」の質問のなかで前の年に比べ大きく傾向が変わった質問をピックアップしたものです。

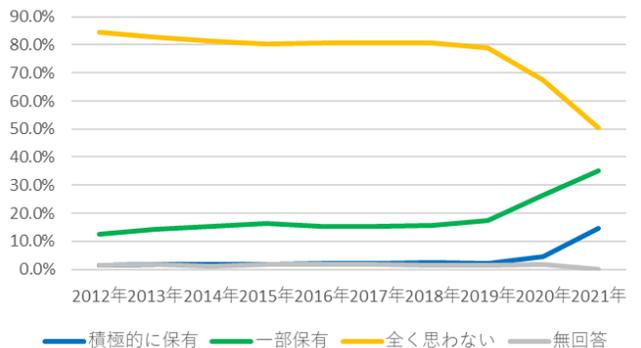
下図は①金融商品を選ぶときに重視する点についての調査結果です。



選択肢の、1・2：収益性、3・4：安全性、6・7：流動性、5・8：その他、と分類

調査開始以来初めて収益性が安全性を上回りました。

下図は②元本割れの可能性があるが収益性の高い商品の保有についての考え方の推移です。



2021年には、「積極的に保有」と「一部保有」を合わせると50%になり「全く思わない」と答えた人と並びました。

2000万円問題やインフレなどを契機に資産形成の考え方が変わってきているようです。ただしやり方を間違えると逆効果になってしまいます。

自分の場合はどうすれば良いか気になる方はお気軽にご連絡ください。